| Sub Title Author Author Author 2中、異定(Kasai, Yoshinori) 2中、異定(Kasai, Yoshinori) 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 20 | Title | itory of Academic resouces 住民白治知樂の制度化に関する研究・滋賀県亜東市の護から白治人主での調本を其に | | | | | |
|--|----------|--|--|--|--|--|--|
| Publisher 要素数子学 Publication year Jutile | | 住民自治組織の制度化に関する研究:滋賀県栗東市の講から自治会までの調査を基に | | | | | |
| Publisher 慶應義塾大学 Jatite 学年版資金を守ر成果実績報告書 (2019.) Jal C DOI Abstract 本研究では当初計画通り滋賀県栗東市における伊勢薄についての調査を行った。栗東市では現在も伊勢薄が数多く残存している。新年会機能だけのものもあるが、現在も伊勢神宮への代参を含むものもある。 市内で春も人口が多い州自治会は、新しく開発された宅地も多いが、東海道筋で古くから続く家も多く、新旧が混在している。 M自治会には5つの伊勢積が残存しており、伊勢講の範囲は自治会の近映る範囲と重なることが分かった。 研究計画優別においては、うちこつ伊勢衛について制定候等の文章観を入手していたが、今年度の調査により全ら伊勢間について、ほぼすくで伊勢調が観度された伊勢講では1931年からの文章観が入手を持ちまた。 大き一般自治会のは、東北の大きの大き一般により、大きの大きを持ちた。 大き一般自治会のは、「自治会では中勢調について助定候等の文章観を入手していたが、今年度の調査により全ら伊勢間について、ほぼすくで伊勢調をされた伊勢講だでは1931年からの文章観が入存する内伊勢調は1764年から、最も新しく元を募録に418年では7031年からの文章観が入存する内伊勢調は1764年から、最も新しく元を募録に418年では7031年からの文章観が上に、日福国でも当初申請の計画通りにほぼ道抄した。日程面でも当初申請の計画通りにほぼ道抄した。日程面でも当初申請の計画通りにほぼ道抄した。日程面でも当初申請の計画通りにほぼ道抄した。子の大きを受け、17月1日での人に関係が対象会構で、別上の調査・報告機合を行った。ただし、年度への質問紙配布・回収はコロナウィルス等の影響も考慮と次年度に見送ることとした。計画になかったこととして、査話論文指摘が三畳を存った。 たびし、年度へ質問機能を行ったこととして、養活論文が解析・畳色を存む、別上の調査・報告機合を経て、現在のところ分かっているのは、同市(少なくともM自治会を確定、別上の調査・報告機合の組織券がこれにあたる。次年度も研究を継続し期待される成果が上があるう努力がし、This study regarding to Ise-ko in Ritto City, Shiga Prefecture has been investigated as originally planned T here are still a lot of Ise-ko in the city today, Some only function as a New Year's party, but some still include a substitute visit to the Ise Shrine. It was found that there are five Ise lectures in the M community, and the scope of the lectures overlaps with the scope of Han in the community. In the planting slage of the research, we had obtained documents such as account books for two of these Ise-ko, but in this year's survey, we photographed almost all the documents for all five Ise-ko, Among them, the oldest surviving documents are from 1764 at N Ise-ko, and those from 1931 at J Ise-ko, where the latest Ise-ko was organized. In this fiscal year, 490 of the documents (61 volumes, 2,041 leaves and 420 pieces olelected were transcribed. In addition to the Mc community, I visited K H, and T combines in the Expense of the fiscal year due to the influence of the coronavirus and other factors. What was not planned were the publication of one refereed paper in Mita Sociology and the opportunity to r | | | | | | | |
| Publication year Jatc DOI Abstract Approximate | | | | | | | |
| Jutice 学事振興資金研究成果実積報告書 (2019:) Abstract 本研究では当初計画通り滋賀県東東市における伊勢講についての調査を行った。栗東市では現在も伊勢講が数多く残存している。新年会機能だけのものもあるが、現在も伊勢神宮への代参を含むものもある。市内で最も人口が多いM自治会は、新しく開発されて宅地も多いが、東海道筋で古くから続く家も多く、新旧が遅んしている。M自治会にはつの伊勢講が発行しており、伊勢講の範囲は自治会の近いの質問と重なることがかった。M自治会にはかったとう伊勢講について、東海道がです。マラを類を入手していたが、今年度の調査により全5伊勢環について、最も新しく伊勢講が上いて、交書類を影した。そのうち最もこから書類が発存する内伊勢講は「2014中から、最も新しく伊勢講が経緯された。伊勢講がでは1931年からの文書類が表存する内伊勢講は「2014中から、最も新しく伊勢講が経緯された。日前2014年からの文書類が表する内伊勢講は「2014中から、最も新しく伊勢講が経緯された。日前2014年からの文書類が表する内伊勢講は「2014中から、最も新しく伊勢講が経過された。日前2014年から、東京教師は1931年からの文書類が表する内伊勢講は「2014中から、最も新した文書類(61冊20人1第420月)のうち名の姿質の観想を終えた。また、M自治会の日からたと書類(10月10日)、日前20日間でも当初申請の計画通りにほぼ進捗した。予備調査を9月、本調査を10月に行い上記の資料収集・取材を行った。5月には栗東歴史氏相博物館でのシンボジウム、9月にはCOM (国際情物館会話) たっし頭報音の計画通りにほぼ進捗した。予備調査を9月、本調査を10月に行い上記の資料収集・取材を行った。5月には栗東歴史氏相博物館でのシンボジウム、9月にはCOM (国際情物館会話) たまれたことと、伊勢の御師等の研究に長く楚車している研究グリループでの報告機会を終る。現在かったこととして、養殖されたことと、伊勢の御師等の研究に長く楚車している研究グリループでの報告を表し、以上の調査・報告機会を終て、現在のところかかっているのは、同市(少なくともM自治会範域))において、伊勢講が単なるを信仰集団を超えた機能を有していただろうことである。特に共会の音楽、熱形総合の組織券がこれにあたる。次午度も研究を継続を関いまたがよりででは、10日間では | | | | | | | |
| 本研究では当初計画通り滋賀県栗東市における伊勢講についての調査を行った。栗東市では現在も伊勢講が数多く残存している。新年会機能だけのものもあるが、現在も伊勢神宮への代参を含むものもある。 市内をも入口が多いM自治会は、新しく開発された宅地も多いが、東海道筋で占くから続く家も多く、新旧が混在している。M自治会には5つの伊勢講が残存しており、東海道筋で占くから続く家も多く、新旧が混在している。M自治会には5つの伊勢講が残存しており、伊勢講の範囲と自治会の班の部囲と重なるとが分かった。研究計画解悟においては、うち2つの伊勢講について、建ますべての文書類を撮影した。そのうち最も古くから書類が残存さん伊勢講は1764年から、最も新しく伊勢諸は組織されたJ伊勢講で1931年からの文書類が12代に設当する。今年度は、収集した文書類(61円公人)1業 +420片)のうち49草の動刻を終えた。また、M自治会のほか、同市内のK自治会、旧自治会、「日治会を確認した。日程面でも当初申請の計画通りにほぼ進捗した。予備調査を9月、本調査を10月に行い上記の資料収集・取材を行った。5月には栗東歴史民俗物館でのシンボジウム、9月にはICOM(国際情物館会議)での口頭報告を行った。ただし、年度末の質問抵配布・回収はコロナウィルス等の影響も考慮し次年度に見送ることとした。計画になかったこととして、金読論文1編が『三田社会学』と掲載されたことと、伊勢会能で、2007年で、10月には10日に、10月に10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月に10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月には10日に、10月には10日に、10日には10日には10日には10日には10日には10日には10日には10日には | • | | | | | | |
| Abstract 本研究では当初計画通り滋賀県果東市における伊勢講についての調査を行った。果東市では現在も伊勢講所が数多く残存している。新年会機能だけのものもあるが、現在も伊勢神宮への代参を含むものもある。市内で最も人口が多い船自治会は、新しく開発されてませも多いが、東海道筋で古くから続く家も多く、新旧が混在している。M自治会には5つの伊勢講が投存しており、伊勢調の範囲は自治会の班の範囲と重なることが分かった。研究計画段階においては、うち2つの伊勢講について、設定すべて文書類を撮影した。そのうち最も古くから奇妻類が残存するN伊勢講は1764年から、最も新しく伊勢講が組織されたが野講では1931年からの文書類がこれに設当する。今年度は、収集した文書類(61冊2.04 1第4420片)のうち分の宝の動型を終えた。また、M自治会のほか、同市内の代人 日際治会、「自治会でも伊勢講について訪ね、伊勢調の存否や形能などが自治会ごとに相当に異なることを確認した。日治会で伊勢講について訪ね、伊勢調の存否や形能などが自治会ごとに相当に異なることを確認した。日担他でも当即申請の計画通りにほぼ進捗した。子側調をを9月、本調を210月に行い上記の資料収集、助材を行った。5月には東速歴史伝俗常物館でのシンボジウム、9月には「2006年間を320年間でも当初申請の計画通りにほぼ進捗した。子側調を3月、不調を210月に行い上記の資料収集、かまれたことと、伊勢の御師等の研究に長く従事している研究グループでの報告機を名得た。以上の調査・報告機会を終て、現在のところ分かっているのは、同市(少なくとも利自治会地域))において、伊勢調が生なる何候単立を超えた機能を有していただろうことでも創金を発成。以上の調査・執税組合の組織等がこれにあたる。次年度も研究を継続し期待される成果が上がるよう努めたい。 This study regarding to Ise-ko in Ritto City, Shiga Prefecture has been investigated as originally planned. There are still a lot of Ise-ko in the city today. Some only function as a New Year's party, but some still include a substitute visit to the Ise Shrine. It was found that there are five Ise lectures in the M community, and the scope of the lectures overlaps with the scope of Han in the community. In the planning stage of the research, we had obtained documents such as account books for two of these Ise-ko, but in this year's survey, we photographed almost all the documents for all five Ise-ko. Among them, the oldest surviving documents are from 1764 at N Ise-ko, and those from 1931 at J Ise-ko, where the latest Ise-ko was organized. In this fiscal year, 490 of the documents (14 volumes, 20.44 leaves are survey, we photographed almost all the document for Il five Ise-ko. Among them, the oldest surviving documents are from 1764 at N Ise-ko, and those from 1931 at J Ise-ko, where the latest Ise-ko was organized. In this fiscal year, 490 of the documents (14 volumes, 20.44 leaves are survey, we photographed almost all the efficiency for the decoments (16 volumes, 20.44 leaves are lated to the fistion of the secondary and the re | | 字事振興貧金研究成果実績報告書 (2019.) | | | | | |
| も伊勢講が数多く残存している。新年会機能だけのものもあるが、現在も伊勢神宮への代参を含むものもある。 市内で最も人口が多いM自治会は、新しく開発された宅地も多いが、東海道筋で古くから続く家も多く、新旧が混在している。M自治会には5つの伊勢講が残存しており、伊勢講の範囲は自治会の斑の範囲と重なることが分かった。研究計画教院においては、うち2つの伊勢講について、国ぼすべての文書類を入手していたが、今年度の調査により全分野講について、ほぼすべての文書類を損じた。そのうち最ももなり合書物が残存する小野講は1784年から、最も前へ野夢講が経路されたり伊勢講が経路されたり伊勢講は1784年から、最も前へ野夢講が経路されたり伊勢講は1784年から、最も前へ野夢講が経路されたり伊勢講では1931年からの文書類が残存する小野夢講は1784年から、最も前へ野海野が経路されたり伊勢講が経路されたり伊勢講では1931年からの文書類が見かるや形態などが自治会ことに自治会、1日治会を確認した。日程面でも当却申請の計画造りにほぼ進捗した。予備調査を9月、本調査を10月に行い上記の資料収集・取材を行った。5月には栗東歴史民俗博物館でのシンボジウム、9月にはICOM(国際博物館会議)での口頭報告を行った。5月には栗東歴史民俗博物館でのシンボジウム、9月にはICOM(国際博物館会議)での口頭報告を行った。5月には栗東歴史民俗博物館でのシンボジウム、9月にはICOM(国際博物館会議)での口頭報告を行った。ただし、午度末の質問紙配布・回収はコロナウィルス等の影響も考慮していた年度に見述ることとした。計画になかったこととしても研究グループでの報告機を含作と、以上の調査・報告機会のととしたが、10月によるで表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表で表 | | | | | | | |
| | Abstract | も伊勢講が数多く残存している。新年会機能だけのものもあるが、現在も伊勢神宮への代参を含むものもある。市内で最も人口が多いM自治会は、新しく開発された宅地も多いが、東海道筋で古くから続く家も多く、新旧が混在している。M自治会には5つの伊勢講が残存しており、伊勢講の新田は自治会の班の範囲と重なることが分かった。研究計画段階においては、つち2つの伊勢講について、助定帳等の文書数を入手していたが、今年度の調査により全5伊勢講について、ほぼすべての文章類を撮影した。そのうち最も古くから書類が残存するN伊勢講は1764年から、最も新しく伊勢講が組織された伊勢講では1931年からの文書類が元れに該当る。今年度は、収集した文音類(61冊2041葉 420月)のうち490葉の翻刻を終えた。また、M自治会のほか、同市内の内自治会、日自治会、「自治会でも伊勢講について訪ね、伊勢講の存否や形態などが自治会ごとに相当に異なることを確認した。日程面でも当初申請の計画通りにほぼ進捗した。予備調査を9月、本調査を10月に行い上記の資料収集・取材を行った。5月には栗東歴史民俗博物館でのシンボジウム、9月にはICOM(国際博物館会議)での口頭報告を行った。ただし、年度末の質問紙配布・回収はコロナウィルス等の影響も考慮し次年度に見送ることとした。計画になかったこととして、査読論文指が「三田社会学」に掲載されたことと、伊勢の御師等の研究に長く従事している研究グループでの報告機会を得た。以上の調査・報告機会を経て、現在のところ分かっているのは、同か、少なくとも的自治会範は)において、伊勢講が単なる信仰集団を超えた機能を有していただろうことである。特に共有地の管理、納税組合の組織等がこれにあたる。次年度も研究を継続し期待される成果が上がるよう努めたい。This study regarding to Ise-ko in Ritto City, Shiga Prefecture has been investigated as originally planned. There are still a lot of Ise-ko in the city today. Some only function as a New Year's party, but some still include a substitute visit to the Ise Shrine. It was found that there are five Ise lectures in the M community, and the scope of the lectures overlaps with the scope of Han in the community. In the planning stage of the research, we had obtained documents such as account books for two of these Ise-ko, but in this year's survey, we photographed almost all the documents for all five Ise-ko. Among them, the oldest surviving documents are from 1764 at N Ise-ko, and those from 1931 at J Ise-ko, where the latest Ise-ko was organized. In this fiscal year, 490 of the documents (61 volumes, 2,041 leaves and 420 pieces) collected were transcribed. In addition to the M community, I wisited K, H, and T communities in the same city to learn about Ise-ko, and confirmed that the existence and form of Ise-ko vary among them. In terms of schedules, the project progressed almost as planned in the original application. A symposium was held at the Ritto Museum of History and Folklore in May, and an oral presentation was given at the ICOM (International Conference | | | | | |
| December Deman | | December Device | | | | | |
| Genre Research Paper | Genre | Kesearcn Paper | | | | | |

https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190271

URI

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年度 学事振興資金 (個人研究) 研究成果実績報告書

| 研究代表者 | 所属 | 法学部 | 職名 | 専任講師 | to an and | 200 | (A) | 千円 |
|-------|----|-------|---------|-----------------|-----------|-----|-----|----|
| | 氏名 | 笠井 賢紀 | 氏名 (英語) | Yoshinori Kasai | 補助額 | 300 | (A) | ТП |

研究課題 (日本語)

住民自治組織の制度化に関する研究―滋賀県栗東市の講から自治会までの調査を基に―

研究課題 (英訳)

A Study on Community Organization through Cases of Folklore Research

1. 研究成果実績の概要

本研究では当初計画通り滋賀県栗東市における伊勢講についての調査を行った。栗東市では現在も伊勢講が数多く残存している。新年会機能だけのものもあるが、現在も伊勢神宮への代参を含むものもある。

市内で最も人口が多い M 自治会は、新しく開発された宅地も多いが、東海道筋で古くから続く家も多く、新旧が混在している。M 自治会には 5 つの伊勢講が残存しており、伊勢講の範囲は自治会の班の範囲と重なることが分かった。研究計画段階においては、うち 2 つの伊勢講について勘定帳等の文書類を入手していたが、今年度の調査により全 5 伊勢講について、ほぼすべての文書類を撮影した。そのうち最も古くから書類が残存する N 伊勢講は 1764 年から、最も新しく伊勢講が組織された J 伊勢講では 1931 年からの文書類がこれに該当する。今年度は、収集した文書類(61 冊 2,041 葉 + 420 片)のうち 490 葉の翻刻を終えた。また、M 自治会のほか、同市内の K 自治会、H 自治会、T 自治会でも伊勢講について訪ね、伊勢講の存否や形態などが自治会ごとに相当に異なることを確認した。

日程面でも当初申請の計画通りにほぼ進捗した。予備調査を9月、本調査を10月に行い上記の資料収集・取材を行った。5月には栗東歴史民俗博物館でのシンポジウム、9月にはICOM(国際博物館会議)での口頭報告を行った。ただし、年度末の質問紙配布・回収はコロナウィルス等の影響も考慮し次年度に見送ることとした。計画になかったこととして、査読論文1編が『三田社会学』に掲載されたことと、伊勢の御師等の研究に長く従事している研究グループでの報告機会を得た。

以上の調査・報告機会を経て、現在のところ分かっているのは、同市(少なくとも M 自治会範域)において、伊勢講が単なる信仰集団を超えた機能を有していただろうことである。特に共有地の管理、納税組合の組織等がこれにあたる。次年度も研究を継続し期待される成果が上がるよう努めたい。

2. 研究成果実績の概要(英訳)

This study regarding to Ise-ko in Ritto City, Shiga Prefecture has been investigated as originally planned. There are still a lot of Ise-ko in the city today. Some only function as a New Year's party, but some still include a substitute visit to the Ise Shrine.

It was found that there are five Ise lectures in the M community, and the scope of the lectures overlaps with the scope of Han in the community. In the planning stage of the research, we had obtained documents such as account books for two of these Ise-ko, but in this year's survey, we photographed almost all the documents for all five Ise-ko. Among them, the oldest surviving documents are from 1764 at N Ise-ko, and those from 1931 at J Ise-ko, where the latest Ise-ko was organized. In this fiscal year, 490 of the documents (61 volumes, 2,041 leaves and 420 pieces) collected were transcribed. In addition to the M community, I visited K, H, and T communities in the same city to learn about Ise-ko, and confirmed that the existence and form of Ise-ko vary among them.

In terms of schedules, the project progressed almost as planned in the original application. A symposium was held at the Ritto Museum of History and Folklore in May, and an oral presentation was given at the ICOM (International Conference of Museums) in September. However, the distribution and collection of questionnaires at the end of the fiscal year will be postponed to the next fiscal year due to the influence of the coronavirus and other factors. What was not planned were the publication of one refereed paper in Mita Sociology and the opportunity to report on a research group that has been engaged in the study of Oshi and others for a long time.

Through the above research and reporting opportunities, we now know that Ise-ko had more than just a religious group in the city (at least in the M community). In particular, this includes the management of common land and the organization of tax associations. We would like to continue our research in the next year and make efforts to achieve the expected results.

| 3. 本研究課題に関する発表 | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|--------------------------|--|--|--|--|
| 発表者氏名 (著者・講演者) 発表課題名 (著書名・演題) | | 発表学術誌名 (著書発行所・講演学会) | 学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月) | | | | |
| KASAI, Yoshinori and Atsushi | A Collaboration on Folklore | ICOM-KYOTO CAMOC-DEMHIST | 2019 年 9 月 | | | | |
| Nakagawa | Research between a City Museum and a Private University | Session | | | | | |
| 笠井賢紀 | 民俗の機能変化をめぐる考察—— 滋賀県栗東市目川地区 S 町の伊 勢講勘定帳を中心に—— | 三田社会学 | 2019年7月 | | | | |
| 笠井賢紀 | 栗東市の左義長からみる地域社会 | 大地の大学定例研究会 | 2019年5月 | | | | |
| 笠井賢紀 | 地域社会における共生のレパート リーとしての民俗 | 社会科学研究年報 | 2019年5月 | | | | |